

健康環境センター機器整備事業について

環境管理課

1 事業の目的

健康環境センターで使用している分析機器のうち、経年劣化が著しい機器を更新し、分析の信頼性と効率性の向上を図る。

2 機器整備の内容

(1) 全有機炭素分析装置一式 6,156 千円

水中の全有機炭素を分析する装置であるが、購入から17年が経過し、機器の制御に不具合が生じていることから更新する。

(2) 酸分解型ドラフトチャンバー一式 4,978 千円

分析の前処理で発生する強酸性のガス等を強制的に排気する装置であるが、購入から29年が経過し、機器本体の腐食が激しいことから更新する。

(3) 細菌検査用ホモジナイザー一式 319 千円

食中毒原因調査等の食品検査に係る試料を均一にすり潰す装置であるが、購入から15年が経過し、機器の制御に不具合が生じていることから更新する。

3 予算額

9,062千円

【参考】補正額の内訳等

(単位：千円)

区 分	金 額	財源内訳		備 考
		国 費	一般財源	
減額分	△ 2,391	△ 1,979	△ 412	当初予算で整備した分光光度計等3機器の請負差額
増額分	11,453	10,889	564	
計	9,062	8,910	152	

※ 国費：電源立地地域対策交付金